

# 問題解決へ意欲

## 市長と「売春街」を視察

「J R町田駅南口を明るく犯罪のない街にする連絡調整会」（佐藤啓久座長）は九日夜、相模原市上鶴間の同駅南口で「売春街」として知られる通称「田んぼ」地区に小川勇夫市長や安斉勉相模原南署長らを招き、現地視察を行った。

が、田んぼ地区を歩いた。小川市長は、「これは早急に手を打たねばならないな」などと話し、警察官立

ち寄り所の設置などを含め、問題解決法について検討を重ねていくことを明らかにしていた。

「田んぼ」は、一九九八年のピーク時には店舗数が七十五軒だったが、同署の摘発によって現在は約十軒に減少し、あと一歩で壊滅に追いこめる。そこで、地域ぐるみで問題解決を図ろうと、周辺住民は今年三月、同会を結成した。

この日、会メンバーとともに、市長や署長ら三十人



田んぼ地区を歩く市長ら一行  
＝相模原市上鶴間、J R町田駅南口

署長

山印

報

座長